

再生可能エネルギーアグリゲーション実証事業の概要

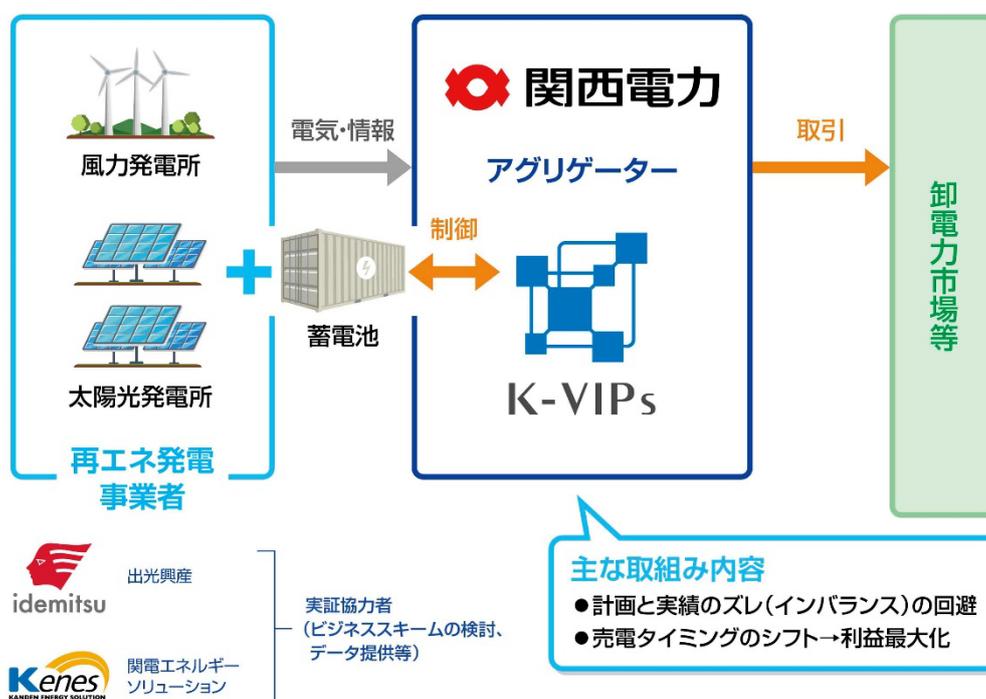
1. 実証概要

3社がこれまで培ってきた、蓄電池等のDERの制御技術や再生可能エネルギー（以下、再エネ）に関する開発や運用の知見を活かし、需給バランスを制御するための発電量予測やリソース制御に必要な技術の実証に取り組むとともに、需給バランス制御に関するビジネススキームの検討を進めるもの。

具体的には、3社が保有する再エネ発電所のデータをK-VIPsに蓄積の上、気象情報等様々なデータと組み合わせた発電量予測の精度を検証します。また、発電量予測から作成した発電計画と発電実績が同時同量となるように、再エネ発電設備の出力変動に対応して蓄電池の出力を調整できることを確認します。

これらの検証を通じて、卸電力市場等での収益拡大や、再エネ発電事業者と卸電力市場等を繋ぐプラットフォームを目指します。

＜本実証におけるシステム構成および体制のイメージ図＞



2. 実施場所

関西電力エリアの再エネ発電所および蓄電池等
(再エネ発電所の一覧)

関西電力	堺太陽光発電所	10,000 kW
出光興産	姫路太陽光発電所	10,000 kW
Kenes	有田太陽光発電所	29,700 kW
〃	淡路風力発電所	12,000 kW

3. 実証期間

2021年6月8日～2022年2月17日（予定）